

A

11

●林業特化の子会社を設立し国産材シフトや林業の活性化

山北木材加工協同組合

住 所	〒959-3936 新潟県村上市北赤谷154番地1		
U R L	http://www.sanpoku-pc.jp/		
設 立	平成4年11月	主 な 業 種	製材業、木製品製造業、建設業など
組 合 員 数	7人	出 資 金	27,000千円

■背景・目的

当組合は平成4年11月に設立し、主に建築用木材のプレカット加工を行っている。近年、ウッドショックの影響で材料となる木材が不足するなかSDGsの一環である森林の保護や生活基盤への活用、地域循環型社会などが注目されている。そこで今回、供給の安定化と地域林業の活性化を目的として新しく株式会社を設立し、林業に進出することにした。新潟県が推し進める「つなぐプロジェクト」にも参加し、県内森林資源の持続的な活用を目指す。

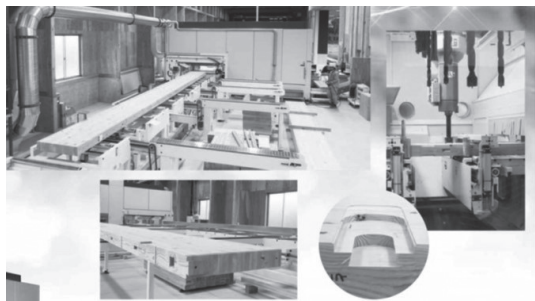
■取組みの手法と内容

新設された「株式会社エスフォレスト」は、組合・組合員企業・役員達の出資により設立した。エスフォレストで間伐・伐採された丸太はプレカット加工の原料として組合へ納品され、供給量は組合の生産計画に合わせて調整することが可能なことから、課題である安定供給に貢献している。また当組合が位置する山北地区は林業が盛んな地域であり、質の良い木材を大量に生産できるため、外国産材から国産材に徐々にシフトしている。しかし一方で、人手不足などを理由に地域の林業は年々衰退している。そこでエスフォレストがこの担い役となり、組合から人員を補いながら森林所有者への交渉、伐採、再造林までを行い、地域林業の活性化を図る。

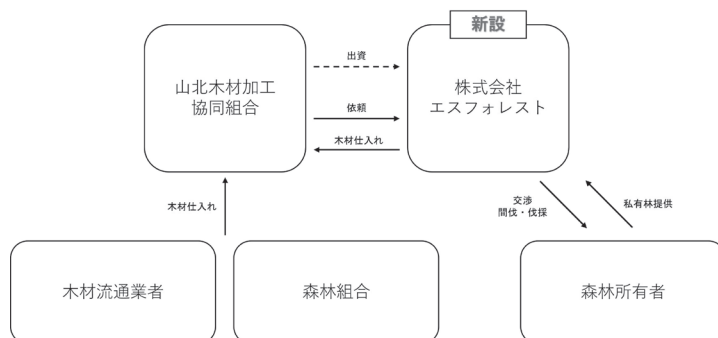
「つなぐプロジェクト」とは、川上～川下+消費者とが一体となり県産材の供給と利用の拡大を図るため、事業者の特徴を活かしたプランを策定し実現を目指す取り組みである。当組合は山北地区としてこれに参加しており、「つなぐプロジェクト」を通して地材を利用した循環型社会の実現を目指す。そのためには、輸入材に合わせて設計されている住宅が多いなか国産材の需要を増やすために、地元住民や事業者の意識改革を進めていきたい。

■成果とその要因

主な成果は、エスフォレストが地主へ間伐・伐採を直接交渉するなどの機動的な取り組みにより、仕入割合が全体の約10%まで成長したことだ。その要因は当組合がリーダーシップを発揮し、組合員や関係者とビジョンの共有を図りながら、迅速に法人設立などの行動に移せたためである。



工場風景



体系図

Point!

子会社による林業への進出は、外部環境の機会(SDGs等)と脅威(ウッドショック)をうまく掛け合わせた取り組みとなっている。